

読む人の
幸せを
心に願って
作る

好きになること

ダスキンのお店は全国にあり、モップやマットをレンタルしているお店はどの地域でも同じ商品をお届けし、その中には島で活動しているところもあります。その店主は島で生まれ育ち、島の文化を守りながら島の人たちに「喜びのタネまき」を実践しています。お客様との関係は商品交換や販売だけではなく、日常的な話を交わし、お互いの様子を伝え合う姿に人のあたたかさを感じます。

また、ある島のミスタードーナツショップでは、オープン以来10数年間毎日ご利用される80歳代後半のお客様がおられます。小一時間歩いて来店し、コーヒーとドーナツを召しあがり、店主と会話を交わし、歩いて帰られる。この店主はミスタードーナツが大好きで来店されるお客様に感謝を持って接しているのです、自然とマニュアル以上の会話ができるのでしよう。

「一人ひとりのお客様を大切に！」と言われますが、きめられたことをするのは当たり前で、仕事を大好きになれば意識しなくても自然と言葉や行動がお客様との信頼に繋がるのだと思います。気持ちは行動にあらわれ、その人にしかできない心配りができるのはと。

日々、生活をしていると悩むこともありますが、まず何事も前向きに好きになること。そして感謝の気持ちを言葉や行動で表現できるように日々研鑽しなければと思いました。

no.541

喜びの タネまき 新聞



写真・阿部 龍平「ほくも馬まき育つてくま」

株式会社ダスキンスキン社長
山村輝治

株式会社ダスキンスキン社長

晴れた日に、自転車でちょっとだけ知らないところへ。大人になっても、探検は楽しいものです。

「自転車に乗って」

久しぶりに自転車を引っ張り出した。埃をかぶってチェーンが重そうだ。15年前に買ったものだが、細身のタイヤがよく似合う自転車はいま見てもなかなか。しばらく放っておいた分、せつせと磨いて、油をさすと軽快な動きが戻ってきた。

ちよつとその辺を流すつもりが、春風にさそわれて、山でも行こうと思いついた。山といっても近くの原っぱにある可愛い小山で、名前は「くじら山」。

近くの小学校の建設で出た土を、公園内の原っぱに積み上げたものが、鯨の背に似ていたことから、いつしか子どもたちは、くじら山と呼ぶようになったという。ぼくはその話がとても好きだ。

原っぱの近くには

「はけ」と呼ばれる崖から湧水が集まり、その流れは野川となって野鳥や昆虫の宝庫になつている。運がいいとカワセミに会えるかもしれない。のんびりペダルを踏んで公園

に入ると、子どもたちの声が聞こえてきた。近頃はどこの公園でも、あまり、わんぱく少年の姿を見かけなくなったが、ここはちよつと違う。いまでは珍しくなった、本物の原っぱがあるからだ。

くじら山は、その広大な原っぱのシンボル。子どもたちを優しく見守っているようだ。自転車を置いて、さつそく登ってみる。ゆっく



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に帰るのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。



り上がつても30秒ほどの小さな山だが、展望は驚くほどいい。ちよつとしたお山の大将になった気分と思わず笑ってしまう。丸い頂上は、ちよつとクジラの頭の部分で、そのまま背になった林を下って行く

とシッポになっていた。山頂では、原っぱにいた少年たちが集まって遊びの相談をしているように、ジャンケンをし終える

と草地の斜面を滑り降りて行った。心地いい風に吹かれて、シロツメクサの花の斜面に寝転び大空を仰いだ。いつのまにか静かになり、気がつく少年たちはお家に帰ったのだろう。原っぱを春のやわらかな夕陽が照らしていた。そろそろ帰ろうか、ぼくは自転車に乗って道を行っていた。

「フルーツを飾ったアーモンドズッパ」

ちよつとおしゃれに

ズッパとはイタリア語でスープの意味。今回は、スープスタイルのデザートを作ります。スーパの手作りお菓子のコナーなどにあるアーモンドプードルを使い、フルーツを彩りよく飾ります。ポイント、ベースになるスープを冷蔵庫で半日以上寝かせてなじませるとやさしい味になります。

◎作り方(4人分)

●アーモンドミルクをつくる(下準備)
ボウルにアーモンドプードル(アーモンドの粉)80g、グラニュー糖60gを入れる。そこへ牛乳3カップを注ぎ入れて泡だて器でよく混ぜ合わせる。しっかりと混ぜ合わせたらラップをかけて冷蔵庫で半日以上おく。

●半日以上おいたら
冷蔵庫で寝かせたアーモンドミルクを、目の細かいこし器でこす。目が細かいこし器ほど舌触りの良い仕上がります。しっかりとこしたら冷蔵庫で再び冷やす。

●トッピング

いちご8粒、キウイ1個、缶詰の黄桃8切などお好みのフルーツを一口サイズにカットする。他にもメロンを丸くり抜いたものや梨なども合います。くり抜き器できれいに丸くすると、お客様のおもてなしにも使えます。スプーンでざつと丸くしても簡単です。

●盛り付け

あれば真ん中だけ少し底の深い、おしゃれなスープ皿にアーモンドミルクを注ぎ入れる。カットしたお好みのフルーツでトッピングしたら、上からレーズンなどのドライフルーツをちらして完成。アーモンドの豊かな香りとミルクの優しい甘さがフルーツと良く合います。

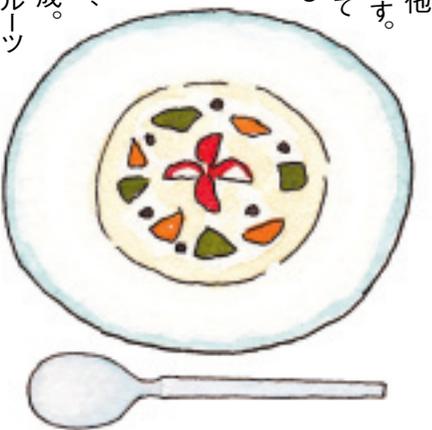


おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ





栃木県さくら市 溝上式子
家族が一人ふえました。



仙台市 田口恵子
森の妖精!?



東京都国立市 佐伯直美
ジョーロ、でかっ!



神奈川県藤沢市 神山礼
お風呂にいられてあげてるの♪



愛媛県今治市 内海理恵
いけーっ!



愛知県半田市 曾根香奈子
「次はあっちのプールいくぞ」



愛知県常滑市 山下今朝次
わが家の元気の源!



広島県尾道市
中川裕美
歳の差、
ちょうど90歳。

Photo Gallery

フォトギャラリー

ご投稿いただく写真は、「いいなあ♪」と
思わず微笑んでしまう瞬間ばかり。

毎号、掲載できる点数は限られているので、

今回はたくさん大公開!

今までお待たせした方、初めての方も
これからも投稿してね!



宮崎県高鍋町 渡辺浩三
カット中。だんだん、
ねむくなりました。



岡山県倉敷市 笹田安子
仲良し兄弟!



青森県八戸市 大久保和子
母と娘のヘアルック!



東京都練馬区 岡田千春
今日は踊っちゃうよ!



佐賀県白石町
森道子
調理への道。



宮城県岩沼市 央戸道子
これからお昼寝。



栃木県足利市 武内宏美
おやつ待ちきれないワン!



岡山県浅口市 石井朝美
「ケンカもするけどね〜」「うん」



富山市 山口悠子
おじいちゃんとおひいおじいちゃん。ニコニコです。



京都府木津川市
遠藤正子
「だ〜るまさんが
こ〜ろんだっ」



滋賀県大津市 長谷川悦子
どろんこでもかわいい?



岩手県花巻市 藤原道雄
天才音楽少女あらわる!



埼玉県所沢市 五十嵐公子
弟、ボク似でしょ?



若者に感謝

愛媛県内子町 大本悦子

年の瀬も押し詰まったある夜のことです。年賀状をコピーしようとして、車で国道沿いのコンビニへ出かけました。用事を済ませて、さあ帰ろうとハンドルを握り、国道に出ようとした瞬間、ガクン、ガジガジ、ガタン！ あ！ タイヤが縁石に乗り上げて、びくともしません。自動車屋は閉まっているし、どうしよう…。

困り果てていると、若者の四人組がやって来て、「おばちゃん、僕らが持ち上げてあげよう！」一人がハンドルを担当、三人がひよいと持ち上げて、元通り道路に戻してくれたのです。寒風の中、本当に「地獄に仏」の心境でした。お礼を、と願う私に、「おばちゃん、お礼なんかかまません。それより、気をつけてお帰りよ。年明けたら、一度、車屋さんに見てもらときよ！」

手を振って去っていった爽やかな四人組の笑顔が、今も心に温かく残っているのです。ありがとうございます、あの子の親切な若者四人組！

—忘れられない若者たち。



スイスの孫娘

兵庫県伊丹市 勝山直人

娘が国際結婚して、ドイツからスイスに移住した。孫娘、花ちゃんは7歳。小学校の入学式に招かれ、8月に妻とふたりで訪ねた。「嬉しくて寝られないよ」と孫娘は30分も早く登校。上級生の歓迎の輪をくぐり、先生達から「ようこそ、おめでとう！」の言葉とひまわりの花をいただき、教室へ。25人の仲間とドイツ語で楽しそうに会話する姿に安堵した。

妻は持参した小豆で赤飯を炊き、昨年着た花ちゃんの浴衣の丈も伸ばした。「こんなに嬉しいことなかった」と日本のばあばは褒められた。バーゼル空港で通訳してくれた孫娘に感謝。この小さな命、平和で健やかに幸福な人生を歩んでいけるように祈っている。

—スモールワールド。世界は縮まりましたね。



もうサイコー

福島市 林孝子

幼い頃からの憧れはベッドで眠る事。この度シングルベッドを主人と私の分として2台購入しました。ベッドが届くと年甲斐もなくテンションが上がってしまった私。さらにベッドを部屋に並べたら、これまたいい具合に空間も取れ、テンションは最高潮！

そしていざ眠る段階で、気持ちが高揚しすぎたのか「おやすみなさい」の掛け声と共に、ベッドの縁に後頭部を強打してしまいました。その場でうずくまり、唸り声をあげている私を、隣で声をこらえて笑う主人。まったく憎たらしいことと言ったら。でも寝心地も抜群で、毎日が快適です。

やはりベッドはサイコーですね。

—こだわりのおやすみタイム♪



ウィークエンド

鳥根県大田市 山本明子

今日は土曜日。小1の孫が泊りに来る日です。保育園児のときには、私の横で大好きな本の話をしていていましたが、小学校に上がると、通学路も長く疲れるのか、布団に入ったとたんに寝息をたててしまいます。少し淋しいけれど、寝顔を見ているだけで癒されます。

普段は甘えん坊の男の子で、お母さんの膝の上にはひよこんと座っているようです。でも土曜日になると「今日はおばあちゃん家にお泊りですか？」とお母さんが言ってくれるのです。心遣いが何より嬉しくて、この上ない幸せです。週末が近づくと「あと3日だよ、あと2日だよ」と孫は心待ちにしてくれています。

いつまで泊りに来てくれるかわかりませんが、今は週末が最高の日です。「百歳まで生きてね！」と言ってくれる孫の声、最近物忘れが心配な私に、希望の光を与えてくれるのです。

—週末は虹色。



あのバナナ

福岡市 藤崎栄子

私がまだ子どもだった頃、叔父がバナナを一房、お土産に持って来てくれました。今では安く買えますが、昭和30年代の当時、バナナは高嶺の花。病気のときでも減多に口にできません。仏壇に供えたバナナを眺めては、いつ食べられるのかと、指をくわえていました。

ところがある日、このバナナが仏壇から消えてしまったのです。大人たちがこっそり食べ、食べたのでしょうか？あのバナナはどこへ？妹たちにこの話をしても、記憶にないようです。父も母も4年前に相次いで亡くなり、今となっては確かめる術もありません。バナナというと、あの子のことを思い出します。

—不思議なバナナの愉快なお話でした。



星の砂

埼玉県鶴ヶ島市 秦三千代

小学5年生の息子の友人が、沖縄旅行のお土産に小ビンに入った星の砂をくれた。

息子は、地図でしか見たことのない地名にトキメキ、珍しい星の形をした白い砂をとても気に入って、ビンを傾けながらしばらく眺めていた。私も手にとって眺めてみた。すると、小学生のときに、やはり星の砂をお土産にもらったことが記憶の底から浮かび上がった。当時、私もすごく嬉しくて小瓶をクルクル回しながら、その形の不思議さに魅了されていた…。懐かしさが込み上げてきた。

偶然なのでしょうが、親子で共通した想いを感じることが出来て、何だかハートがほっこりしました。スアキな巡り合わせに感謝です。

—星砂の思い出はちよっとキラキラ。

入学おめでとう！



愛媛県伊予市 清本美津子

現状維持は退歩

今のままでも、いいんだ。と、私たちは、どうしても現状維持になりやすい。未知の世界は不安です。しかし、人生のロマンを求めるならば、勇気を出して新しいチャンスをつかむ事です。

鈴木清一

あなたのお便りや写真をお寄せください

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先 〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室 電話 03(5909)6703

e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

no.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます <http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

愛の輪からのコラム

from AINOWA

人にやさしいグローバルな視点って？

舞台の臨場感を音で届ける ロンドンの音声ガイド

美術展などで、イヤホンから流れる説明を聞いて楽しむ音声ガイドを利用する人も多いのではないのでしょうか。劇場の数が多いロンドンには、音声ガイドが充実しています。舞台上で繰り広げられる役者やセットの様子をセリフの合間に音声で実況中継し、より臨場感を味わってもらおうという心配りです。映画や演劇、観光ツアーの音声ガイドは、視力が衰えた高齢者や、視覚に障がいのある人たちの余暇の楽しみを広げています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>)

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

ヘルス&ビューティの化粧品は
自然素材にこだわっています。

ダスキンは家だけでなく女性にもキレイになっていただきたいと、1977年に化粧品の訪問販売をスタート。当時では珍しい、肌本来の美しさを引き出す植物エキス配合の自然派化粧品にこだわりました。現在「ヘルス&ビューティ」として、化粧品と健康食品を取り揃え、商品の説明や肌の悩み相談など、お客様との対話を大切に、肌にやさしい商品をお届けしています。

商品の使い方の
コツやお肌のこと
をお伝えします。

毛穴もお掃除が
大切なね!

夫にお肌
ほめられたの!



あなたの**声**が原点です。

私たちは、そのお声とともに歩みつづけます。

ダスキンが大切にしたいのは、あなたの声——。ぜひ、あなたの想いをお聞かせください。

お客様の声はインターネットにて承っております。

ダスキンお客様の声 検索

www.duskin.jp/voice

今号のキーワード

「せんがん」

ハガキに書いてご応募ください!



抽選で50名様に「ダスキンヘルス&ビューティ」の
「it's フェイスワン ジェル」を
プレゼント!



(美容ジェル) 58g

洗顔後はこれ一つ。一品で化粧水、乳液、美容液、パック、化粧下地の5役のスキンケア効果を実現しました。

下記の要領でご応募ください。

- ハガキに
①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名
⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
⑨この新聞内で好きなコーナー
をご記入の上、下記あて先までお送りください。

- 応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。
〒163-0265 住所は不要です。

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.541」プレゼント係

- 締め切り 平成26年4月18日(金)当日消印有効
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成26年5月中旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
※ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」プレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp